

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	リウマチ・アレルギー特別対策事業	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 難波 吉雄		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「リウマチ・アレルギー特別対策事業の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症等のリウマチ・アレルギー性疾患患者は国民の30%に上ると言われており、患者数や国民の関心も高い重要な問題となっていることから、都道府県の実情に応じた各種事業を実施し、患者や家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①医療従事者向けの研修を実施し、専門医等の人材育成を行う。 ②一般国民向けに自己管理(セルフケア)の観点からのシンポジウム開催等リウマチ・アレルギー性疾患に関する正しい知識の啓発活動を実施し重症化防止を図る。 【補助率】1/2					
実施状況	平成21年度は3県が行う事業について、補助を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	16	16	12	12	7
	執行額	4	2	1		
	執行率	22.9	12.3	7.9		
	総事業費(執行ベース)	4	2	1		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握				
	見直しの余地	平成21年度までは「喘息死ゼロ作戦」として、対象疾患を死亡の可能性のある気管支喘息に特化していたが、リウマチ・アレルギーを取り巻く環境を踏まえ、平成22年度より対象疾患をリウマチ・アレルギー系疾患全般に拡充することとしており、引き続き、国民一般に対する不安解消のため必要な事業である。				
予算・監視の効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) リウマチ・アレルギー特別対策事業については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。					
補記						

厚生労働省
1百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等



【補助】

都道府県(3)
1百万円
(内訳)
兵庫県 0.5百万円
岐阜県 0.3百万円
群馬県 0.2百万円

・医療従事者向けの研修の実施
・国民向けの正しい知識の普及啓発事業の実施
・研修やホームページを活用した診療ガイドラインの普及の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)